

常夜燈

常夜燈とは、村人の暮らしを守るために建てられたもので、火事が起きないようにとの願いがこめられている。夜道の安全のため街道沿いに設置されており、現在でいう街路灯と同じ役目を果たしていた。常夜燈は「常夜燈」「町内（村中）安全」「秋葉山」というような文字が刻まれている。常夜燈に刻まれている「秋葉山」の文字は、秋葉山が火を鎮め、火災を防ぐ神社として広く信仰されているからである。

昔は毎夜、常夜燈に火をともし、「火の用心」といいながら夜回りをしたそうである。常夜燈が建てられた場所は、大部分が町の中心の辻か、神社の入り口にあることが多かったようである。この常夜燈ができた頃の、幹線道路は占部と土呂（福岡町）・岡崎を結ぶ道であった。現在の地方道岡崎碧南線は昭和に入ってから新しく作られたものである。思案橋を渡り、占部川の横を通過して中村にはいる入り口にあたる場所に1つ作られていたようである。六ツ美南部学区には現在、6つの常夜燈がある。それらは、すでに述べた中村町以外には国正町、安藤町、中島町上町（八幡）、中島町本町および中島町境に現存する。

町名	場所	建立
国正町	真妙寺・西	1907（明治40）年
中村町	占部天神社・北	1902（明治35）年
安藤町	鋤神社・境内	1909（明治42）年
中島町上町（八幡）	八幡社・境内東	1812（文化09）年
中島町本町	日長神社・境内南	1825（文政08）年
中島町境	龍泉寺・西	1895（明治28）年

本項は以下の資料を引用している。

[わたしたちのふるさと 六ツ南 114 選]

- 監修者 総代会長 平井 良美
社教委員長 近藤 武美
- 著者 岡崎市立六ツ美南部小学校 6年児童 114名
（平成25年3月19日卒業）
- 編者 岡崎市立六ツ美南部小学校 6年担任
権田 康成、加納 隆、坂井 純、榊原 美佐子、山本 佳愛
- 発行日 2013（平成25）年3月1日 初版発行
- 印刷所 ブラザー印刷株式会社
- 製本 ブラザー印刷株式会社
- 発行 岡崎市立六ツ美南部小学校



国正 20150728



中村 20150728



安藤 20150728



八幡社 20150728



日長社 20150728



境 20150728



